

2021 年度第 2 回理事会資料

日時：2021 年 6 月 26 日（土）13：30～15：15

場所：オンライン

出席者：原、三橋、安原、平川、藤嶋、田中、小枝、上谷、笹原、算用子、小山内啓、
菩提寺、大塚、秋元、泉田、佐々木、工藤、新谷、落合、加藤、藤原、小山内隆

書記：金谷、佐藤、森山

【報告事項】

1. 会長報告

- 5/7 県学会開会式の祝辞録画
- 6/3 新入会オリエンテーション（オンライン）
- 6/12 第 1 回 47 都道府県委員会（オンライン）
- 6/14 三役会議（オンライン）
- 6/16 POS 合同研修会運営会議（オンライン）

2. 各部局委員会報告

<事務局>

[会員数（6 月 24 日現在）]

正会員数合計 994 名（内、2021 年度入会者 61 名）

正会員所属施設数合計 210 施設 賛助会員数合計 10 施設

(内訳)

ブロック名	正会員数	施設数	ブロック名	正会員数	施設数
弘前ブロック	291	52	西北五ブロック	64	18
八戸ブロック	277	63	上十三ブロック	72	23
青森ブロック	260	44	下北ブロック	30	10

※会費未納者 20 名

[年会費の納入状況について]

【口座振替】

4/27：口座振替日

5/7：振替結果通知・入金：振替可能 844 名，振替不能 26 名

6/3：振替不能 18 名へ督促状送付

6/24：5 名未納

【銀行振込】

4/30：銀行振込納入期日

6/3 : 未納者 33 名へ督促状送付

6/24 : 15 名未納

[渉外活動 (4 月 9 日 ~ 6 月 24 日)]

・ 委員等推薦

依頼元	委員等名称	委員名
平川市長	平川市地域ケア推進会議 委員	平川 裕一
平川市長	平川市地域ケア個別会議 助言者	金谷 圭子
十和田市長	十和田市認知症対策検討会 委員	関橋 克矢
下長・上長地区 高齢者支援センターはくじゅ	「自立支援型地域ケア会議個別会議」 委員	大塚 基永 大泉 慶洋
五所川原市長	ケアプラン点検 委員	北澤 純子 工藤 衣里
横浜町長	リハビリテーション専門職派遣調整業務 委員	菩提寺 玲子
是川・中居林地区 高齢者支援センター修光園	令和 3 年度「地域ケア会議 (個別会議) 」 委員	泉田 康志
白銀・湊地区 高齢者支援センター	リハビリ専門職等派遣調整事業を活用し た地域ケア個別会議 委員	泉田 康志 齋藤 繭子 笹原 秀平
田面木・館・豊崎地区 高齢者支援センターハピネス やくら	令和 3 年度「地域ケア個別会議」 委員	笹原 秀平
五所川原市 地域包括支援センター	令和 3 年 5 月地域ケア推進会議 委員	三橋 武信
大館・東地区 高齢者支援センター福寿草	地域ケア会議 個別会議 委員	泉田 康志
白銀南・鮫・南浜地区 高齢者支援センター瑞光園	「地域ケア会議個別会議」 委員	阿世知 知子 米内 和貴
南郷地区 高齢者支援センターゆとり	「地域ケア会議 個別会議」 委員	泉田 康志
田面木・館・豊崎地区 高齢者支援センターハピネス やくら	令和 3 年度「地域ケア個別会議」 委員	神保 直人
十和田市長	十和田市認知症初期集中チーム 委員	小笠原 牧
三沢市長	令和 3 年度三沢市地域ケア会議 委員	佐倉 雄喜
青森市福祉部子育て支援課長	放課後児童会への作業療法士の派遣 委 員	秋元 真樹子
平川市長	令和 3 年度平川市ケアプラン点検 アド バイザー	金谷 圭子
弘前市 第一地域包括支援センター	令和 3 年度第 2 回地域ケア個別会議 委 員	上谷 英史
弘前市 北部地域包括支援センター	地域ケア会議 委員	上谷 英史
一般社団法人 青森県言語聴覚士会	「失語症者向け意思疎通支援者養成研修 講座」 講師	平川 裕一 柏崎 勉
弘前市福祉部介護福祉課	地域リハビリテーション研修会 講師	平川 裕一
横浜町長	住宅改修・福祉用具点検 アドバイザー	菩提寺 玲子
南郷地区 高齢者支援センターゆとり	「地域ケア会議個別会議」 委員	泉田 康志
弘前市 第三地域包括支援センター	地域ケア会議 委員	工藤 大樹

青森県健康福祉部長	青森県脳卒中対策協議会 委員	原 長也
-----------	----------------	------

・後援等

依頼元	後援内容	開催日
大塚製薬株式会社 青森出張所	「東北心不全Webセミナー」の後援	2021/7/16
青森県訪問リハビリテーション研究会	令和3年度第1回リハビリテーション研修会の後援	2021/7/31 2021/8/7

[総会出席者数について]

総 会 出 席 者：23名（理事21名、議長1名、事務局員1名）
 議決権行使書提出者：501名（内、インターネット経由での回答287名）
 合 計 524名（総正会員数993名）

[2021年度新入会オリエンテーションについて]

新入会オリエンテーションについて、以下の内容で開催した。

日 時：2021年6月3日（木） 19:00～20:10

方 法：オンラインミーティングアプリ Zoom を使用

内 容：1. 開会の辞

- | | |
|---------------|----------------|
| 2. 三役挨拶 | 会 長 原 長也 |
| | 副会長 三橋 武信 |
| | 副会長 安原 清文 |
| | 副会長・事務局長 平川 裕一 |
| 3. 本会の概要の説明 | 副会長・事務局長 平川 裕一 |
| 4. 本会の研修制度の説明 | 教育部担当理事 小枝 周平 |
| 5. 質疑応答 | |
| 6. 閉会の辞 | |

出席者31名／欠席者2名／無回答27名（2021年度新入会者60名）

[インターネットバンキング（あおぎん AB-web）の契約について]

5/24に契約し、6/1から利用を開始した（月額2,200円）。

年会費の納入状況の確認、研修会参加費の確認、口座振込、口座振替が非常に効率的になった。

[新入会予定者の情報収集および入会案内送付の取りやめについて]

例年4月上旬に、事務局員が電話、FAX、メールにより、会員の所属施設から新年度に入職した職員の情報を収集し、それに基づいて、入会していない者（新入会予定者）には入会に関する書類を送付していた。しかし、最近では、施設数の増加に伴い、事務局員の負担が非常に大きくなっており、また、各施設とも情報管理が厳しくなり、情報を提供いただけない場合が増えている。

そのため、事務局による新入会予定者の情報収集および入会案内の送付を取りやめることとする。その代わりに、会費納入願いの文書を年度末に送付する際に、全会員に対して新年度の入職者への入会の勧誘を依頼する文書を同封する。入会手続きは本

会ホームページの「入会案内」の記載に従って行ってもらう。

[事務局から連絡することによる会員情報の確認・変更の取りやめについて]

例年4月上旬に、事務局員が電話、FAX、メールにより、会員の所属施設から所属会員の情報を収集し、それに基づいて、情報変更の手続きがなされていない会員の情報を変更していた。しかし、最近は、施設数の増加に伴い、事務局員の負担が大きくなっており、また、各施設とも情報管理が厳しく、情報を提供いただけない場合が増えている。

そのため、事務局から連絡することによる会員情報の確認・変更を取りやめることとする。変更手続きは、従来通り、本会ホームページの「各種書式」の記載に従って行ってもらう。

[青森県訪問リハビリテーション研究会について]

賛助会員として入会している標記研究会は、今年度に地域リハビリテーション研修会を数回実施し、年度内の解散を予定している。なお、年会費は平成31年度以降徴収されていない。

[文献権利許諾使用料について]

株式会社メテオより、1月から3月までの文献権利許諾使用料が7件1,716円との報告があった。

[包括利用著作権使用料について]

株式会社メテオより、包括利用著作権使用料5,000円が入金された。

[財務担当]

特になし

<学術部>

1) 第29巻青森県作業療法研究修正版の送付について

第29巻青森県作業療法研究の誤植を見落としした件について、修正版機関紙の送付が完了した。以下にこれまでの経緯および再発防止策についてまとめた。

① 原因

機関誌校正作業を一人で行っていたため、ダブルチェック機能が働かなかったためだと考える。

② 一連の対応

賛助会員および機関誌送付66団体へは詫び状および修正版機関紙を送付した。

該当する著者2名には詫び状および修正版機関紙、修正版別刷りを送付した。

会員938名には訂正シールを送付した。

③ 費用

賛助会員および機関誌送付66団体への機関誌返送用切手代13,860円、機関誌返送用封筒、謝罪文送付費用8,088円、修正版機関紙送付費用92,242円、機関誌別

刷り送付費用 740 円，合計 114,930 を補正予算により支出した。

④ 再発防止策

最終校正チェックポイントを作成し、それをもとに複数人による校正作業を実施していく。

2) 第 33 回青森県作業療学会の演題発表者 32 名に対して機関誌への投稿依頼文，投稿ならびに執筆規定を送付した（6/4）。

3) 第 30 巻青森県作業療法研究は投稿数 1 編（症例報告）であり，現在，査読中及び査読者に査読依頼中である。

<教育部>

<教育部業務>

4/26 研修会に関する HP 掲載用原稿作成

6/3 新入会オリエンテーションでの生涯教育制度の説明

6/7 臨床実習指導者講習会開催のための申請書作成
講師依頼文作成・発送

6/4 2021 年度研修会運営計画立案

<広報部>

1) ホームページの管理・運営

4/3-6/20

- ・更新情報：2 件の情報をアップした。
- ・学会・研修会情報：33 件の情報をアップした。
- ・トピックス等：数回の修正をした。

2) 公開講座

- ・講師と内容について調整中。

3) 県士会ホームページについて

- ・業者から説明を受ける。

4) SNS の活用

- ・Facebook の開設をした。

5) 高校生への啓発活動

- ・ポスター等の発送準備中。

<福利部>

・青森県健康福祉部医療薬務課長→

叙勲褒章候補者該当なし、厚生労働大臣表彰・青森県知事表彰該当者なし

・青森県健康福祉部高齢福祉保険課長→

叙勲褒章候補者なし

- ・青森県精神保健福祉協会会長表彰決定：笹森哲嗣氏

<制度対策部>

- ・制度関連情報を士会員に情報提供した。

<規約委員会>

- ・特になし

<倫理委員会>

《前回委員会からの活動報告》

- ・会員から倫理問題に関する相談はなかった。
- ・ホームページの掲載依頼に対する倫理的検討依頼はなかった。

《協議事項内容》

- ・研究倫理について、どのような形で整備を進めるか検討し、素案について話し合った。

<選挙管理委員会>

なし

<災害対策委員会>

なし

<地域作業療法推進委員会>

(1) 研修会の開催について

「地域包括ケアシステムアドバンス研修会～高齢者の保健と介護予防～」

日時：2021年6月6日（日）9:30～17:00（オンライン）

参加者数：17名

(2) 研修会の開催形式の変更について

「地域包括ケアシステムアドバンス研修会～地域ケア会議～」

日時：2021年6月27日（日）9:30～17:00

「地域包括ケアシステム アドバンス研修会～地域ケア会議スキルアップ情報交換会～」

日時：2021年7月17日（土）9:30～12:30

「地域リハビリテーション研修会～対象者の地域生活への支援～」

日時：2021年7月25日（日）9:30～12:00

⇒新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、開催形式をオンラインへ変更

(3) 地域支援事業等への参画について

2019年度、2020年度のリハビリテーション専門職派遣事業の実績について、ブロック別、市町村別、事業別、職種別に分析を行った。OT士会への依頼がない事業について、当該市町村へ渉外活動を行っている。

⇒弘前市の地域包括支援センター4か所より、今年度の地域ケア会議への出席依頼があった。また、弘前市より、サービス事業者や通いの場団体向けの地域リハビリテーション研修会（地域支援事業への参画内容・介護予防に関する体操・フリーディスカッション）の講師依頼があった。

(4) ケアマネジメント支援（モデル事業）について

介護支援専門員がケアプランを立てる際の視点・考え方について、個別に支援、助言を行う（ケアプラン点検等の査定的な場ではなく）。それにより、利用者の自立支援に資する適切なケアプランの作成、介護支援専門員の資質の向上に繋げることを目的とする。この事業について、平川市に持ちかけたところ、賛同が得られ、平川市内の居宅介護支援事業所の介護支援専門員数名を対象に実施する方向で進んでいる。また、既存の「包括的・継続的ケアマネジメント支援事業>ケアマネジメント研修会、日常的個別指導・相談」に該当させ、謝金もいただけるとのことである。さらに、この成果について、介護支援専門員の研修会で発表してもらうことを計画している。ケアプランを立てる介護支援専門員、保険者である市、本会の3者がWin-Win-Winの関係となるように取り組みたい。

<認知症の人の生活支援推進委員会>

- ・5/30：認知症スタンプラリー開催（八戸ポータルミュージアムはっち1階はっち広場）

参加者数；120名

参加者の声；「新聞記事を見て興味を持ち、来てみた。勉強になった。良かったあ」

「1回目のこれ（認スタ）に来て勉強になったから、今回も見に来ました。」

「うちの夫が少しずつ忘れっぽくなってきてて・・・ああそうかあ。

ここに相談すればいいのねえ」

共催側の感想；「コロナ過で八戸市イベントがほとんど中止の中、開催できた事がとても良かった。」

「やっぱりいろんな団体とみんなで協力してやり遂げる事は楽しい。明日からの活力につながる。」

<特別支援教育関連参画推進委員会>

- ・2021年6月19日(土)9：30～11：00 勉強会(リモート) 開催

講師：小枝 周平 氏(弘前大学大学院保健学研究所)

テーマ：「発達性協調運動障害について(基礎編)」

参加者；16名

・青森市学童保育訪問支援

今年度、青森市学童保育3か所(金沢小・新城中央小・浜田小)確定。

6月末から7月中旬にかけ、各児童会と打ち合わせ、訪問日程確定となる。

訪問担当：秋元(感染状況をみながら同行を検討する)

・講師依頼

青森県立青森第二養護学校 講師派遣依頼(担当：秋元)

日程：2021年8月20日 2022年1月8日(オンライン開催)

青森県立弘前第二養護学校 講師依頼(担当：秋元)

日程調整中

<第33回青森県作業療法学会>

常任実行委員会議

5月10日：出席者8名(Web会議)

5月24日：出席者8名(Web会議)

司会者打ち合わせ会議

5月27日：出席者6名(対面+Web会議)

通信状況確認およびホテル会場との打ち合わせ

5月15日：出席者3名

通信環境前日準備

5月29日：出席者4名

第33回青森県作業療法学会

5月30日：参加登録者163名(Web開催)

アーカイブ

5月31日～6月6日：質問件数3件

<第32回東北作業療法学会実行委員会>

開催形式：WEB(オンデマンド)

開催時期：7月1日～7月15日の2週間

3.各ブロック活動報告

<弘前ブロック>

5月26日(水)弘前ブロック勉強会①「がんのリハビリテーションの基礎と実践」を開催した。参加人数51人。

<八戸ブロック>

2021年度第1回八戸ブロック会議（オンライン）を開催（2021年4月30日 7名参加）
2021年度第2回八戸ブロック会議（オンライン）を開催（2021年5月27日 8名参加）
五戸健康祭りが中止となった。啓発活動について他の方法を検討する。

<青森ブロック>

6/7 ブロック会議（6名参加）

6/12 ブロック主催臨床研修会「治療的援助としてのコミュニケーション技法」17名参加。

※総会議案書 p31 【青森ブロック】1. 臨床研修会①、②、③の順番を変更した。

（講師都合による）変更後は②、③、①の順番になる。また当面は WEB 開催に切り替える予定。

<西北五ブロック>

第1回西北五ブロック会議（オンライン）

日にち：4月6日（火）

内容：今年度の活動について

第1回西北五ブロック症例検討会（オンライン）

日にち：4月13日（火）

内容：各施設のコロナウイルス対策について

第2回西北五ブロック会議（オンライン）

日にち：6月1日（火）

内容：第2回症例検討会について

臨床研修会について

啓蒙活動について

オンライン飲み会開催

日にち：6月25日（金）

参加者数：8名

<上十三ブロック>

・5月27日、十和田市立中央病院にて第一回ブロック会議開催（9名参加）

・6月25日、交流プラザトワレにて臨床研修会開催（13名参加）

<下北ブロック>

○第1回ブロック会議 6月2日（オンライン開催）6名参加

・理事会報告

・渉外活動について

・今年度のブロック活動について

※啓蒙活動（むつ市ふれあい福祉展の開催の有無）については、主催者（むつ市）からの連絡待ち

- ・会議、勉強会などのオンライン開催について

○ブロック研修会 6月13日（オンライン開催）14名参加

※当初の計画は対面での開催でしたが、オンライン開催へ変更し実施。

4. その他

<生涯教育推進担当>

- ・4/24 第一回生涯教育制度推進担当者会議に参加（オンライン）
生涯教育制度推進担当者の役割の確認
コロナ禍における生涯教育制度の確認
会員ポータルサイトおよび研修管理システムの現状と対応
学術部の事例報告登録制度について
- ・6/4 研修受講履歴登録説明会
ポイント登録のためのシステムの操作方法の説明

<令和3年度第12回訪問リハ・地域リーダー会議（Web会議）>

開催日：令和3年度5月22日（土）13：00～17：00

開催形式：ZOOMによるweb会議

出席者：上谷英史、阿世知知子

会議次第 開会式：日本言語聴覚士協会会長、日本作業療法士協会会長、日本理学療法士協会会長兼訪問リハビリテーション振興財団理事長のあいさつ

I部：参議院議員 小川 かつみ 氏、衆議院議員 城内 みのる 氏のあいさつ

II部：地域リーダーの役割の再構築

III部：令和3年度活動報告

IV部：訪問リハビリテーション実務者研修会 要件

V部：組織体制の強化、グループワーク

閉会式

<OT協会第1回47都道府県委員会（Web会議）>

日時 2021年6月12日（土）9:00～15:30

出席者：原，三橋武信，平川裕一

内容：

委員長挨拶

中村会長挨拶

新たな倫理委員会の設置について

広報部からの報告

「協会員＝士会員」実現に向けた検討委員会からの報告

コロナ禍における士会活動の工夫（東京・和歌山・奈良・鹿児島・愛媛）

コロナ禍における今年度の士会運営の在り方について（ディスカッション）

協会組織体制について（47委員会のあり方について）

まとめ・あいさつ

<POS 合同研修会運営会議（Web 会議）>

6/16 19:00～20:00 Zoom ミーティング

<OT 協会地域支援事業における臨時研修会（Web 会議）>

日 時 2021年6月23日（水）19:00～20:50

参加者：菩提寺，平川裕一（以上，選任者），金谷，上谷，柏崎（以上，聴講者）

内 容：

1. オリエンテーション（委員長）

研修会の目的、当委員会の今年度の活動目標、年度内スケジュール、アンケート結果の要約

2. 地域包括ケア・地域支援事業に関する今般の動向（両理事）

インセンティブ交付金、協会の新組織図の動向、OT 参画推進のための指針など

⇒青森県は、「保険者機能強化推進交付金に係る評価結果」、「地域ケア会議・介護予防・日常生活支援総合事業」の得点が高いものの、「自立支援・重度化防止等に向けたリハビリテーション専門職等の活用」の得点が低い（参画の余地がある）。

3. 委員の自己紹介および情報提供（理事以外：12名）

4. ブロック別ディスカッション（各ブロック選任者）

「担当者間の顔合わせ」「他（多）団体と協調しつつ、OT の特性の特性を売り込むための具体的戦略」など

5. ブロック別の報告（担当委員）

6. まとめ・閉会（両理事・委員長）

<青森県商工労働部 新産業創造課からの依頼について>

6/22 に青森県商工労働部 新産業創造課 主幹 太田朗史氏より、以下の相談・依頼のメールが届いた。

依頼内容は、新産業創造課では、医療・介護現場におけるニーズとシーズ（県内企業）のマッチングの事業を行っているので、その事業への作業療法士の参画である。

6/29 に説明のため来訪予定（対応：平川）。

【協議事項】

1. 総会に関する日当の取り扱いについて（事務局長）

総会への出席には日当を支給しない。ただし、会場準備・受付・後片付け等の運営に関する業務は日当の支給対象とする。

この申し合わせは令和3年5月29日から適用する。

承認された

2. 会員の認知症リハ技術向上のための研修会参加について

（認知症の人の生活支援推進委員会）

承認された

3. 県士会ホームページの業者への委託について（広報部）

承認された

4. 今後の活動について（会長）

継続審議